

事務事業名		水防対策事業			目標設定日	令和2年3月1日
総合 計画 体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり		部・局	消防部
	政策	02	消防・救急体制の充実		課・室	消防課
	施策	01	消防体制の充実		係	消防係
					内線電話	8131
予算 体系	会計	一般会計			実施計画	
	款	9	消防費		計上	
	項	1	消防費		実施期間	
	目	4	水防費		合併前 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	火災や事故等の災害、地震や風水害といった大規模災害から市民の生命・身体及び財産を守るため消防力の強化を目指す。	
現状・課題	火災をはじめ異常気象による災害も複雑多様化・大規模化してきており、災害時の初動対応で重要な役割を担う常備消防や消防団の体制強化を図るなど、更なる消防力の強化が求められている。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	水防法	
事務事業概要	水防活動、水防体制の強化を図る。		
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量
	水害対応訓練		1回
	固定式排水ポンプ新設工事		4箇所
	軽量移動式排水ポンプユニット		1基
	水防用止水板整備		80個
	大型水のう整備		10体

事務 イン 事業 プ コス ト	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円		1,531,000	19,430,000
補正・流用等		円				—
合計		円		1,531,000	19,430,000	26,457,000
決算（見込）額 A			円	951,552	19,430,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円		16,000,000	12,500,000
		市債	円			11,600,000
		その他特定財源	円			
一般財源		円		951,552	3,430,000	2,357,000
正規職員数		人		0.10	0.10	0.10
人件費 B		円		643,400	644,200	644,200
総事業費 A+B		円		1,594,952	20,074,200	27,101,200
市民1人当たりコスト		円		37	472	639

成果指標	アウトカム	方向		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
水害対応訓練への参加者数		維持	目標	331	人	331	人	331	人
			成果	332	人	309	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	水害対応訓練へ計画どおり参加するため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	水防活動・水防体制の強化を図る。						

